

発明の名称

移動体通過判定システム及び判定方法

～簡単な構成、低コストで正確に移動体の通過判定を行う技術～

発明者

升井 洋志（北見工業大学）

技術概要

公共交通機関などでは、利用者の正確な人数把握が求められますが、一般的に利用される赤外線などの専用センサーはコストがかかり、人の引き返しや停留に対応できないという問題があります。

そこで、通過判定対象領域で移動体（人や物体）の通過方向を横切る方向に、異なるパターンからなる複数のAR（Augmented Reality／拡張現実）マーカー（2次元バーコード）と撮影手段を備え、移動体が通過する際にARマーカーが隠される数に基づいて、移動体の通過（方向、計数）を判定するシステム、方法を開発し、問題を解決できました。

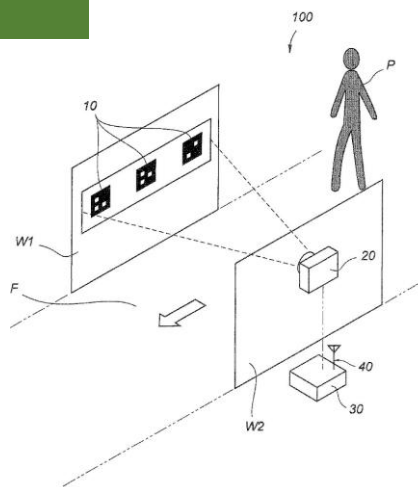
発明の目的

移動体通過判定を、簡単な構成、低コストで可能とし、さらに移動体が引き返したり、停留したり、複数であったりしても正確に通過判定できるシステム、方法を提供することです。

効果

従来の赤外線センサのような専用センサを用いることなく、複数のARマーカー10と、それを撮影する小型カメラモジュールやスマートフォン内蔵のカメラ等の撮影手段20を備えることで、簡単な構成、かつ低コストで移動体通過判定ができます。

図面



詳細はこちら

工業所有権情報・研修館のサイトに移動します

出願・登録

出願日	設定登録日	存続期間満了日
2021/05/31	2025/03/31	2041/05/31